

實田砂川 （かたがは） 俳人。明治二十六年六月八日東京府北多摩郡狛江市村  
 生れ、昭和二十七年十一月六日歿（一九三二）。舊姓飯田。大正十年  
 實踐文學卒。この間、萩原井泉水主宰誌『層雲』に句を學び、靜枯の  
 名を短歌も作りた。十一年實田有雲と結婚。昭和五年太田耳動子主宰  
 誌『睦月』に據り作句、のち俳誌『平野』選者加藤とげらに師事。十  
 六年俳誌統合により『平野』は原石鼎主宰誌『鹿火屋』に合併、爾來  
 同人。

遺句集『草もみぢ』(内題「草もみぢ」昭和二十八年十一月、二十百寶  
 田興一刊)。

